

2018年8月27日

日本ユニシス、ディサークル 秋田銀行が意思決定の迅速化とペーパーレス化促進の基盤として 「POWER EGG®」を利用開始

日本ユニシスとディサークルは、秋田銀行へポータル型グループウェア、ワークフローシステム「POWER EGG（パワーエッグ）」を導入し、本日から利用が開始されました。

「POWER EGG」は、2018年7月末時点で、国内1,284社（自治体：78団体 金融機関31社を含む）約406,000ライセンスの販売実績を有しています。日本ユニシスとディサークルは、今回の秋田銀行での導入実績をもとに、「POWER EGG」の金融機関への展開をさらに加速していきます。

【「POWER EGG」導入の目的と期待される効果】

秋田銀行は、既存業務のペーパーレス化および業務手順見直しを行い、「意思決定の迅速化とペーパーレスによる業務の効率化」を目的に「POWER EGG」の採用を決定し、本日から営業店・本店での本番利用を開始しています。

秋田銀行が「POWER EGG」導入により目指す効果は以下のとおりです。

1.スピードアップ

意思決定の迅速化、指示内容・期限の徹底

2.ペーパーレス化

報告・申請など、各種書類の閲覧や決裁の電子化による業務円滑化とペーパーレス化

3.業務の見える化

必要な情報のみを伝達するポータルによる行内業務・情報の見える化

【今後の展開】

日本ユニシス、ディサークルは、今回の秋田銀行での実績をもとに、POWER EGGの金融機関への展開をさらに加速していきます。

以上

株式会社秋田銀行（本店：秋田県秋田市、代表取締役頭取：新谷明弘氏）  秋田銀行

秋田県秋田市に本店を置く地方銀行です。

平成28年度から平成30年度までの3年間の計画期間とする中期経営計画「《あきぎん》みらいプロジェクト～創りたい未来、守りたい故郷～」を策定し、平成28年度よりスタートしております。本計画では「地域活性化戦略」、「営業基盤拡大戦略」、「人財・組織強化戦略」という3つの基本戦略のもと、地域経済の質を高めるとともに、住みよい地域社会を創造し、成長し続ける銀行を目指されています。

■ 「POWER EGG」 (パワーエッグ) について

POWER EGG は、統制強化と業務生産性の両立を図る上場企業や中堅企業を中心に、「気づき」を促すプッシュ型ポータル機能やワークフロー機能などを提供しています。最近では、地域金融機関における導入実績も堅調に増加し、また、証券会社での実績も加わり、2018年7月末時点で、1,284社（自治体：78団体 金融機関31社を含む）約406,000ライセンスの販売実績となり、国産ポータル型グループウェア、ワークフローシステムとして高い評価を受けています。

※POWER EGG は、ディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 関連 URL

銀行・信用金庫向け業務改革支援ソリューション「POWER EGG」

<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/poweregg/index.html>

株式会社秋田銀行

<http://www.akita-bank.co.jp/>

ディサークル株式会社

<https://www.d-circle.com/>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。